



戸田市の現状

65歳健康寿命が埼玉県平均より短い(2020年)

- ・県内市町村平均 男：17.87年 女：20.66年
 - ・戸田市 男：16.94年 女：20.14年
- (出典：埼玉県の健康寿命算出ソフト「健寿君」)

前期高齢者1人当たり医療費は県内で1番高額(2020年度)

- ・県内市町村平均472,816円
 - ・戸田市535,710円
- (出典：第2期戸田市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画))

これらの課題解決のための1つの手段として『SDHを踏まえた社会的処方』に着目

- SDH(健康の社会的決定要因)とは
人々の健康に直接的な影響を与える社会的背景のこと
例えば、経済的困窮や社会的孤立などが挙げられる
- 社会的処方とは
医師が一人ひとりのSDHを深く掘り下げ、福祉や地域と連携して、患者が抱える課題の解決に資するような非医療的な社会資源(介護予防活動など)につなげること

医師には、薬の処方などの医療行為に加えて福祉・地域と連携した社会的処方が求められる

医療・福祉・地域連携による「社会的処方」の仕組みづくり

【社会的処方を実施していくための諸課題】

- 高齢や疾病、コロナ禍での生活環境等で医療機関にアクセスしにくい人が増えている
- 「社会的処方」の必要性への理解が十分ではない
- 医療機関に地域の社会資源が十分に認識されていない
- 社会資源へのつながりが十分ではない

戸田市 × 公平病院
「オンライン診療の実証実験に係る包括連携協定」を締結
実証実験を通じてノウハウを蓄積・発信しながら諸課題の解決に取り組んでいく

【諸課題解決の方向性】

- まずは医療・介護・社会資源につなげていない高齢者をターゲットに医療MaaSで診察を行い、その中で社会的処方を実践
- スクリーニングシートを開発し、蕨戸田市医師会と連携して地域の医療機関へ横展開
- 地域の社会資源の情報発信と充実
- 医療機関と社会資源をつなぐ(仮称)リンクワーカーの育成

現状の諸課題

医療機関

患者

課題1
医療機関にアクセスしにくい人が増えている
(高齢や疾病、コロナ禍での生活環境等)

・病院のメディカル
ソーシャルワーカー
・地域包括支援センターの
ケアマネジャー

課題3
社会資源へのつながりが
十分ではない状況

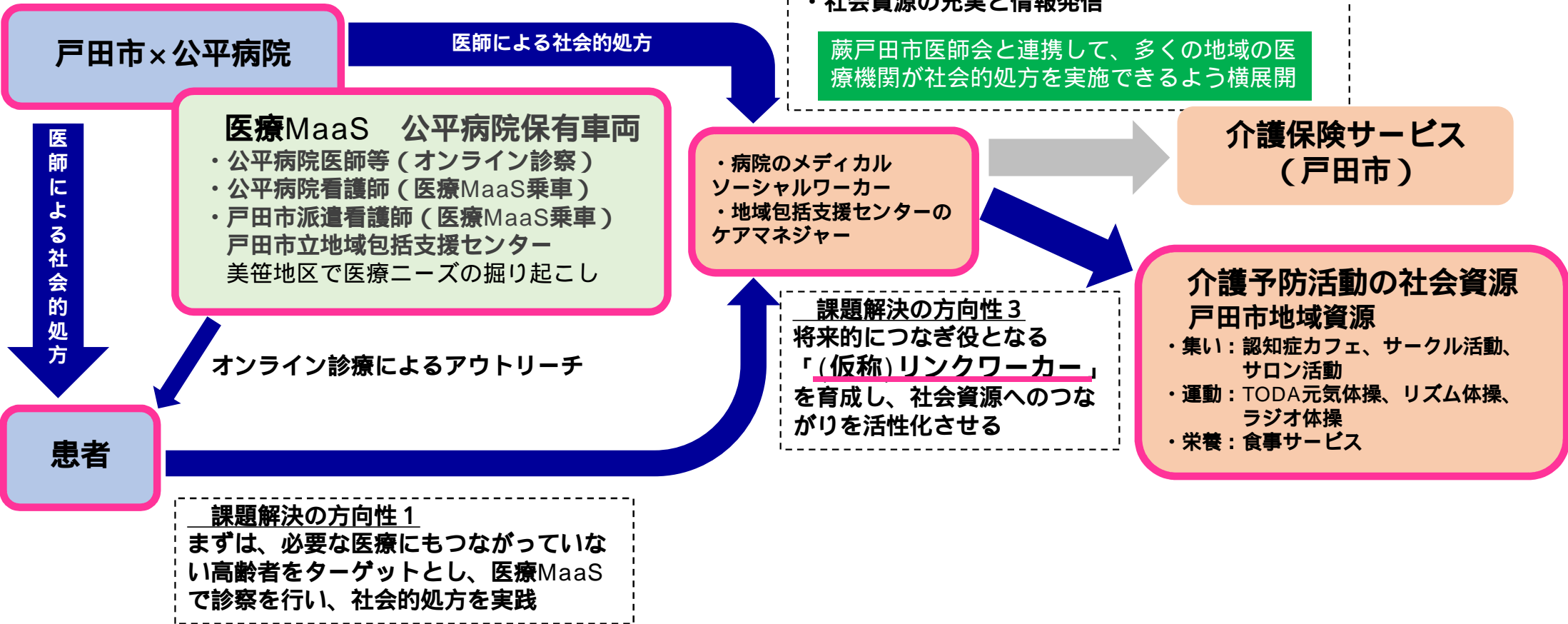
課題2
・社会的処方への必要性への理解が十分ではない
・地域の社会資源が十分に認識されていない

介護保険サービス
(戸田市)

介護予防活動等の社会資源
戸田市地域資源

- ・集い：認知症カフェ、サークル活動、サロン活動
- ・運動：TODA元気体操、リズム体操、ラジオ体操
- ・栄養：食事サービス

将来に向けた課題解決の方向性



戸田市 × 公平病院 実証実験

美笹地区にお住いの患者が対象

戸田市と公平病院の連携内容

- (1) 医療MaaSの連携活用に関すること。
- (2) 医療資源の相互連携に関すること。
- (3) 医療、福祉サービスの活性化に関すること。
- (4) 地域の社会資源の充実と情報発信に関すること。
- (5) 医療と地域の社会資源のつなぎ役となるリンクワーカーの育成に関すること。

公平病院

医師による社会的処方

医療MaaSを活用した オンライン診療によりアウトリーチ

- ・公平病院医師等（オンライン診察）
- ・公平病院看護師（医療MaaS乗車）
- ・戸田市派遣看護師（医療MaaS乗車）



オンライン診療のイメージ



医療MaaS（ヘルスケアモビリティ）

- ・病院のメディカルソーシャルワーカー
- ・地域包括支援センターのケアマネジャー



介護予防活動の社会資源 戸田市地域資源

- ・集い：認知症カフェ、サークル活動、サロン活動
- ・運動：TODA元気体操、リズム体操、ラジオ体操
- ・栄養：食事サービス

患者

（独居老人や自力で受診ができない高齢者等）

市から看護師を派遣

戸田市立
市民医療センター